

令和4年度 中野市学校給食センター運営委員会次第

日時 令和5年2月10日(金)  
午後3時30分から  
場所 中野市南部学校給食センター

1 開 会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 会長の互選、職務代理者の指名について

会 長

職務代理者

5 報告事項

(1) 令和3年度の学校給食センターの運営状況について

(2) 令和3年度の食育について

6 会議事項

(1) 令和4年度の学校給食センターの事業概要について

(2) 令和5年度の給食費等について

7 その他

8 閉 会

# 中野市学校給食センター運営委員会名簿

(委員任期：令和5年7月31日まで)

	選出枠	氏名	備考
運営委員	識見者	山口 哲弘	北信保健福祉事務所 獣医師
		村島 康秋	中高薬剤師会
		神田 久仁玲	北信食品衛生協会 中野支部長
		小林 みどり	中野市食生活改善推進協議会 会長
		倉田 忠広	高社中学校 P T A
		寺島 里佳	平野小学校 P T A
		山崎 史恵	中野市養護教諭部会 豊田小学校養護教諭
	教職員	小山 健史	高社中学校 校長
		徳武 真弓	日野小学校 校長
	公募	金井 きみ代	市民
		神田 宏美	市民
		土屋 明子	市民

	職名	氏名	所属
事務局	教育長	堀内 敏明	
	教育次長	太田 敦	
	所長	町田 義文	南部・北部学校給食センター
	副主幹	田中 幸子	北部学校給食センター
	栄養士	望月 智	〃
	栄養教諭	宮澤 比呂子	北部学校給食センター
	栄養職員	平沢 由美	〃
	栄養教諭	江澤 香	南部学校給食センター
	栄養職員	松澤 澄枝	〃

運営委員会配置図

会長

山口委員
村島委員
神田久仁玲 委員
小林委員
倉田委員
寺島委員

小山委員
徳武委員
山崎委員
金井委員
神田宏美 委員
土屋委員

宮澤 栄養教諭
平沢 栄養職員
望月 栄養士

(事務局)

(事務局)

田中 副主幹	太田 教育次長	堀内 教育長	町田 所長
-----------	------------	-----------	----------

入口

## 5 報告事項

### (1) 令和3年度 学校給食センターの運営状況について

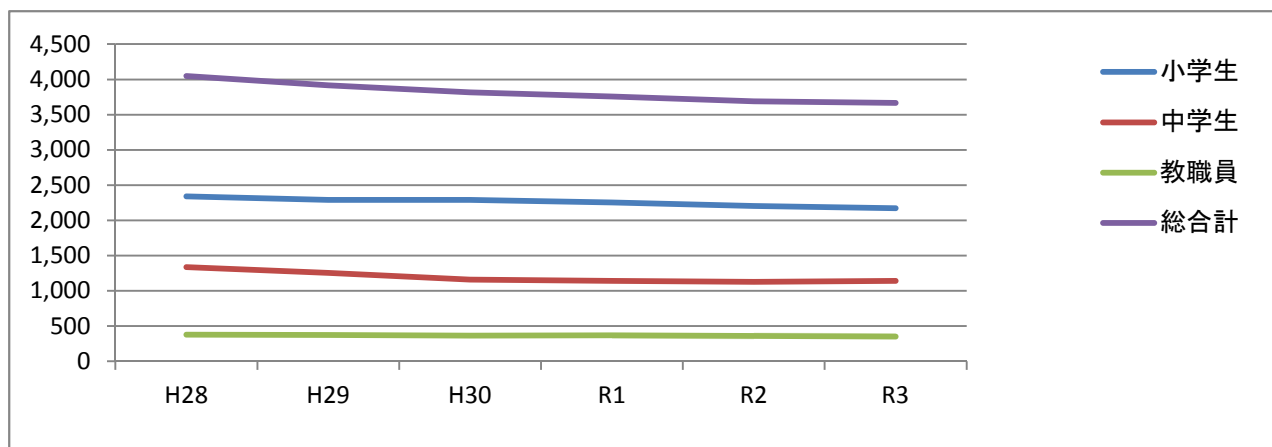
#### ① 施設概要等について

項 目		南部学校給食センター	北部学校給食センター	
着工年月日		平成18年8月1日	平成17年8月4日	
竣工年月日		平成19年7月25日	平成18年3月27日	
給食開始		平成19年8月20日	平成18年4月6日	
敷地面積		4,756.49㎡	4000.00㎡	
建設面積		1,699㎡ (鉄骨造)	1,653㎡ (鉄骨造)	
調理場方式		ドライ方式		
提供可能食数		2,500食	2,000食	
配送校及び 給食人員  (R3.4.1現在)	小学校	学校名	日野・延徳・平野・高丘	中野・高社・豊田・永田
		児童数	834人	1334人
	中学校	学校名	南宮・中野平	高社・豊田
		生徒数	835人	303人
	合計		6校 1,669人	6校1,637人
職員体制	所長		1人	(兼務)
	市事務員		1人	2人
	県栄養教諭		1人	1人
	県栄養職員		1人	1人
	市栄養士		1人	1人
委託先 調理員	統括責任者		1人	1人
	業務責任者		2人	2人
	一般調理員		16人	16人
給食費 単価	軽減前単価		小学校(低)247円、小学校(高)268円、中学校309円	
	(3割減額)		小学校(低)172円、小学校(高)187円、中学校216円	
委託業務	副食調理		(株)岩野商会	
	米飯・パン		旭製パン(合)、(有)亀屋製菓	
	給食配送		中野広域シルバー人材センター	

#### ② 給食人員数の推移について

(単位：人)

	H28			H29			H30			R1			R2			R3		
	人員	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	
小学生	2,338	2,289	-49	2,292	3	2,252	-40	2,203	-49	2,173	-30							
中学生	1,334	1,253	-81	1,158	-95	1,141	-17	1,125	-16	1,141	16							
教職員	378	374	-4	364	-10	366	2	361	-5	351	-10							
総合計	4,050	3,916	-134	3,814	-102	3,759	-55	3,689	-70	3,665	-24							



③ 令和3年度の事業実施状況について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対応から、4月、5月は市内(全国)すべての学校が臨時休校になったことから給食センターから通常の給食を提供することができずでしたが、令和3年度の新型コロナウイルス感染者の対応は、学校ごとに対応したことから、市内全校での休校がなかったことから給食センターの稼働日数は通常どおりでした。また、臨時休校、分散登校等による食数の減に対する給食の対応についても、学校等と調整をし提供することができました。

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	日	稼働日数	
4月	春	春	土	日	春	入	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	祝	○	○	4月	17	
5月	土	日	祝	祝	祝	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	土	日	○	5月	18
6月	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	6月	22	
7月	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	祝	祝	土	日	夏	夏	夏	夏	土	7月	15		
8月	日	夏	夏	夏	夏	土	日	夏	夏	祝	夏	夏	土	日	夏	夏	夏	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	土	日	○	8月	9		
9月	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	土	日	祝	○	○	祝	○	土	日	○	○	○	○	○	○	9月	20		
10月	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	10月	20		
11月	○	○	祝	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	土	日	○	祝	○	○	○	土	日	○	11月	20		
12月	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	○	土	日	冬	冬	冬	冬	冬	12月	18
1月	土	日	冬	冬	冬	○	○	土	日	祝	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	1月	17		
2月	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	祝	土	日	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	祝	○	○	土	日	○	○	○	2月	18		
3月	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	春	春	土	日	祝	春	春	春	春	土	日	春	春	春	春	3月	12	
月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	日	206	

◇中野市学校給食センター費決算の概要

項目	R1決算額 ①	R2決算額 ②	R3決算額 ③	前年度との差額 ③-②	備考
学校臨時休業対策費補助金		1,940,000 円		-1,940,000	R2のみコロナ臨時休校に伴う国の補助(食材の廃棄分、給食費返還手数料等)
学校給食センター寄付金	500,000 円	500,000 円		-500,000	JAからの寄付(地域食材の関心を高めるため)はR2までの5年間
雑入					
給食費(現年度)	192,332,547 円	162,988,477 円	142,263,445 円	-20,725,032	R2.12月分給食費から市長公約3割軽減実施
給食費(過年度)	89,949 円	169,220 円	330,986 円	161,766	前年度分以前の給食費の未納になっていたものの収入額
行政財産一時使用料	6,000 円	6,000 円	6,000 円	0	北部敷地内の電柱・支線の使用料
計	192,928,496 円	165,603,697 円	142,600,431 円		

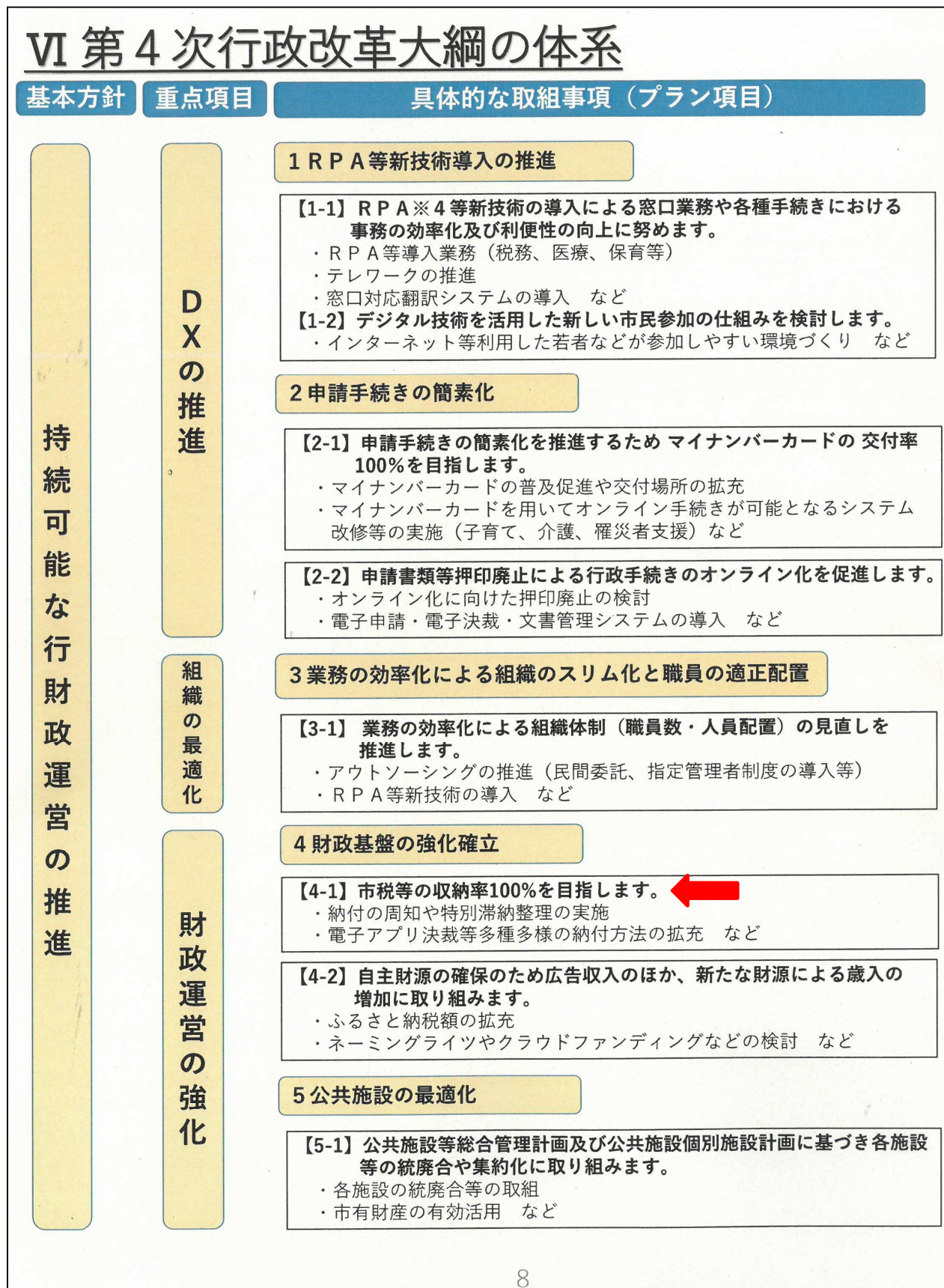
項目	R1決算 ①	R2決算 ②	R3決算 ③	前年度との差額 ③-②	備考
I 職員人件費	55,539,471 円	23,084,323 円	21,539,973 円	-1,544,350	正職員の3人分の人件費
II 管理事業費	48,219,957 円	44,842,605 円	47,022,142 円	2,179,537	
10 需用費	32,979,347 円	28,888,638 円	30,185,552 円	1,296,914	電気料、水道料、燃料費
11 役務費	446,800 円	1,425,925 円	264,706 円	-1,161,219	電話料、施設管理手数料
12 委託料	7,156,320 円	6,684,242 円	7,641,156 円	956,914	施設管理業務委託料(厨房機器、自動ドア、受水槽清掃)
13 使用料及び賃借料	7,631,390 円	7,841,400 円	8,928,728 円	1,087,328	下水道使用料、土地借上料
III 運営事業費	312,709,640 円	320,677,864 円	322,172,325 円	1,494,461	
1 報酬	53,600 円	4,534,340 円	2,500,904 円	-2,033,436	運営委員報酬、会計年度任用職員報酬
賃金	38,260,206 円				※R2会計年度任用職員制度開始から賃金から1報酬と8旅費へ移行
臨時職員賃金	15,888,959 円				
嘱託職員報酬	22,371,247 円				
8 旅費 非常勤一般職通勤費		170,400 円	108,980 円	-61,420	会計年度任用職員の通勤手当
10 需用費	209,911,769 円	198,713,314 円	211,282,841 円	12,569,527	
消耗品費	8,199,838 円	5,965,843 円	3,851,456 円	-2,114,387	食缶、箸、しゃもじ、お椀、お皿、トレイ、調理用具、まな板など
修繕料	6,764,901 円	9,919,206 円	8,084,224 円	-1,834,982	建物、給食調理機器、洗浄等機器修理、給排水設備、空調設備等
車検整備料	985,360 円	866,551 円	738,730 円	-127,821	給食配送車の車検等
賄材料費	193,961,670 円	181,949,284 円	198,604,361 円	16,655,077	給食の賄材料費
11 役務費	2,107,203 円	1,327,588 円	966,284 円	-361,304	検便手数料、食材検査手数料、口座振替手数料など
12 委託料	59,396,528 円	104,353,017 円	105,864,214 円	1,511,197	給食配送業務、調理業務などの委託料
給食配送業務委託料	6,338,408 円	5,385,357 円	5,040,799 円	-344,558	
可燃ごみ運搬委託料	163,210 円	114,235 円	107,415 円	-6,820	夏場6月～10月毎日回収クリーンセンターへ運搬
給食調理業務委託	52,894,910 円	98,853,425 円	100,716,000 円	1,862,575	令和3年度より長期契約(5年間)、
17 備品購入費	0 円	5,368,000 円	649,000 円	-4,719,000	保存食用冷凍庫、洗濯機(令和2年は配送車購入)
26 公課費	237,600 円	240,600 円	147,600 円	-93,000	配送車用(自動車重量税)
計	416,469,068 円	415,499,792 円	390,734,440 円	-24,765,352	

(ア-1)調理業務委託の状況及び職員人件費等の比較についての比較について

給食センター別	令和1年度	令和2年度	令和3年度	備考
南部	民間委託	→	→	※第3次中野市行政改革大綱から定型的な業務について、民間でできることは民間に委ね、市が重点的かつ戦略的に取り組むべき根幹的、創造的業務へ職員を配置することができることから、給食センターの調理業務を民間委託にすることとした。
北部	直営	民間委託	→	
豊田	直営	廃止		
人件費	令和1年度 146,694,587 円	令和2年度 126,472,088 円	令和3年度 124,756,877 円	前年度との差額 -1,715,211

(ア-2)調理業務民間委託をしたことにより、業務移行をした事務について(給食費の徴収事務)

給食費の収入状況	令和1年度	令和2年度	令和3年度	備考
決算				※給食費徴収業務は、平成30年度までは各学校で給食費の徴収していたものを、令和1年度より学校事務の負担軽減から教育委員会事務局(学校教育課)に移行し、令和3年度より給食センターに移行しました。 調理業務の民間委託は行政改革大綱に基づく推進によるもので、大綱に掲げる財政基盤の強化確立のため、給食費の収納率100%収納に取り組むことができました。
調定額	192,544,301 円	163,276,929 円	142,346,162 円	
収入額	192,332,547 円	162,988,477 円	142,263,445 円	
未納額(出納閉鎖5/31)	211,754 円	288,452 円	82,717 円	
滞納者数	8 人	9 人	4 人	
収納率	99.89% 円	99.82% 円	99.94% 円	
納閉鎖後の収入額	211,754 円	288,452 円	82,717 円	
収納率	100%	100%	100%	
給食費徴収担当課	学校教育課	学校教育課	給食センター	



(イ-1)小中学校児童生徒の保護者に対する子育て支援について

・市長公約により令和2年12月分給食費から、3割軽減実施しています。なお、保護者から納入していただいた給食費はすべて賄材料費に充当し、3割軽減分については一般財源から充当しました。

項目	令和1年	令和2年	令和3年	備考
給食費収入①※	192,332,547 円	162,988,477 円	142,263,445 円	保護者等からの納入された給食費
賄材料費②	193,961,670 円	181,949,284 円	198,604,361 円	給食で使用した賄材料の総額
一般財源等から充当額①-②	-1,629,123 円	-18,960,807 円	-56,340,916 円	3割軽減により市の一般財源から充当している額

※給食費には先生等の分も含まれます。先生等の給食費に軽減はありません。

(イ-2)コロナ禍における子育て支援関係の対応について

・新型コロナウイルス感染による保護者負担軽減をするため、休校、学級閉鎖、個人的に感染、濃厚接触等で欠席した場合の給食費については、徴収しないよう対応しています。

新型コロナウイルス感染による欠席	給食費	備考
休校	徴収しない	・新型コロナウイルス感染症が始まった令和2年より、休校、学級閉鎖等の際、ごはん、牛乳等については、できる限り廃棄する部分を減らすため(※SDGs持続可能な開発目標)休校、学級閉鎖等の情報を業者に連絡し学校にごはん、牛乳等が届かないよう対応しました。(休校、学級閉鎖等の連絡、土日等も学校→教育委員会→給食センター→業者に連絡)
学級閉鎖	徴収しない	
個人の感染者、濃厚接触等	徴収しない	

※SDGs持続可能な開発目標「目標7:エネルギーをみんなにそしてクリーンに」・学校からの残飯については、焼却処分をしていますが、残飯を減らすことによる焼却するための燃料が少なく済むことによりCO2の削減にもつながるものです。

## ○給食に使用した地元農産物の使用量について

種別	全体使用量(kg)	中野市産(kg)	地産地消率(%)		主な品目
			R3	R2	
米	49,050	49,050	100%	100%	精米(麦入り)
菌茸類	3,898	3,898	100%	100%	えのき茸・しめじ・なめこ・エリンギ
果実	2,513	2,253	89.7%	100%	りんご、、ぶどう、なし、プラム、いちご、
野菜	71,208	23,684	33.3%	35.8%	キャベツ、玉ねぎ、人参、じゃがいも、きゅうり、白菜、アスパラガス、だいこん、長ねぎ、里芋、丸なす等
合計	126,669	78,885	62.3%	63.8%	-1.5%

- ・米、菌茸類、果実は、中野市産を100%使用しました。
- ・果樹、野菜は、春先の霜による農作物に被害がありサクランボ、プルーン、プラム等が使用できず前年度と比べて地産地消率が減少しました。
- ・全体を通して地産地消率は、前年度と比べて1.5%減少しました。



(学校給食出荷者の会のじゃがいも、玉ねぎ)



中野市産の梨(R4、9、26・撮影:南部センター)



## ○給食センターに食材等納入業者(市内のみ記載、市外業者もあります。)

品目	納入業者	
米	中野市学校給食用米穀納入組合	
パン、米飯	亀屋製菓、旭製パン合資会社	
牛乳	サンフレッシュ食品	
青果	中野青果納入組合	綱島青果店、市村青果店、春木屋、養田青果店、ナラヤ商店、八百芳
	学校給食出荷者の会・JA中野市	事務局JA中野市
精肉	中野食肉納入組合	福田屋、信濃ハム、川合屋本店、綿貫産業、トヨツヤ分店、肉の小泉屋
魚介類	中野市学校給食納入組合	カクアゲ本店、渡辺商店
	中野食材合同組合	魚茂、坂本屋
その他	*醤油、マルキ醤油 *味噌、丸世味噌 *豆腐等、原豆腐店 *冷凍食品、中高冷菓	

※給食センターへの食材は、納入業者の方に配達により納品していただいています。(午前8時～8時30分の間及び午後1時～1時30分)

## ○食物アレルギー対応食の推移状況について

中野市の学校給食センターでは、食物アレルギー専用の部屋を設置し、食物アレルギー栄養士を各センターに1名配置し対応をしています。

### ◇食物アレルギー対応数

センター	南部		北部		豊田※3		全体	
	※1	※2	※1	※2	※1	※2	※1	※2
H28	26	(9)	29	(9)	5	(1)	60	(19)
H29	34	(9)	26	(7)	4	-	64	(16)
H30	41	(11)	28	(6)	3	-	72	(17)
R1	45	(14)	31	(2)	2	-	78	(16)
R2	46	(10)	26	(2)	※3		72	(12)
R3	47	(12)	32	(6)			79	(18)

※1 人数は、食物アレルギー対応食を希望している児童生徒数です。(除去食や代替食等で対応者のほか、献立明細書の送付を希望している者も含まれます。)

※2 ( )内の数字は、食物アレルギー対応食を希望している者のうち、飲用牛乳のみ提供を停止している児童・生徒の総数です。

※食物アレルギーの原因となる主な食材は、「卵、牛乳、乳製品、小麦、魚、豚肉、えび、イカ、果物等」です。なお、学校給食では「そば、くるみ、ナッツ類」は使用しません。

※3豊田学校給食センターは、令和元年度で廃止し令和2年度から北部に統合しました。

(写真1) 北部学校給食センターで担当栄養士が調理している様子



(写真2) 除去食や代替食の出来上がった対応食を入れる容器  
(間違いがないように学校名、学年、クラス、氏名等記載したもので対応しています。)





(2) 令和3年度の食育について

令和3年度 中野市学校給食センターの食育の実績

令和3年度実績

項目	南部学校給食センター	北部学校給食センター
指導計画	年間指導計画の作成しました 毎月の献立のねらいやポイントを明確にし、指導の柱とします	
給食センターだより	献立を教材として活用するため、毎日各クラスに配布しました	
給食試食会・見学等 (学校で)	10月4日 平野小学校PTA試食会  ※新型コロナウイルス感染症予防のための配慮(密にならない 黙食など)をしながら、試食と講話を行いました	 
(センターで)	7月8日 中野平中3年生(14名) SDGs学習	
(生産者の会)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました	
食の指導	<p>(全校集会)</p> <p>6月22日 延徳小学校 「給食センターの紹介、マナーをまもって楽しく食べよう」 10月12日 日野小学校 「給食センターの紹介、マナーをまもって楽しく食べよう」</p> <p>(授業)</p> <p>11月1日 高丘小学校5年 家庭科T.T「5大栄養素と体内ではたらき」 12月15日 高丘小学校6年 家庭科T.T「1食分の献立を立てよう」 12月22日 高丘小学校5年 家庭科T.T 調理実習「すいとん汁を作ろう」 11月18日 中野平中学校1年1クラス 家庭科T.T「バランスのよい給食献立を考えよう」 11月22日 中野平中学校1年1クラス 家庭科T.T「バランスのよい給食献立を考えよう」 11月26日 中野平中学校1年1クラス 家庭科T.T「バランスのよい給食献立を考えよう」 11月29日 中野平中学校1年1クラス 家庭科T.T「バランスのよい給食献立を考えよう」</p>	<p>12月1日 豊田小2年 「食べ物の旅(うんちのたび)」～おなかすっきりで整えよう生活リズム～ 豊田小4年 「赤緑黄色の3色そろった栄養バランスのよい朝ごはんを食べよう」 豊田小6年 「こんだての立て方を知ろう」 6月1日 豊田中 家庭科T.T「一日分の献立を考えよう」</p>
(給食時での指導)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました	
(給食週間) (学校訪問)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、基本的には学校訪問を行いませんでしたが、感染症予防のための配慮をしながら訪問した学校もありました	
(連絡ノートの活用)	給食センターと各学校間で、給食の様子や感想を書いたノートの交換をして、業務の参考にしています	
職場体験学習	7月8日9日 中野平中学校2年生 1名 職場体験学習	
個別指導	食物アレルギー児童・生徒へ対応食を実施しました。また、必要に応じて個別面談を実施しました。	
特色ある学校給食への取り組み	<p>毎月19日を「食育の日」とし、地元の食材を活用した給食を提供しました また、行事食や郷土食、子ども達のお楽しみ給食(希望献立)を提供しました 各月1回以上「ひくシオたすベジ」献立を実施しました(9月は複数回実施)</p> <p>秋以降に「おはなし献立」を実施しました</p>	

## 6 会議事項

### (1) 令和4年度の学校給食センターの事業概要について

#### ① 運営体制について

		南部	北部
配送校	小学校	日野・延徳・平野・高丘	中野・高社・豊田
	中学校	南宮・中野平	高社・豊田
	合計	6校	5校
給食人員 (R4.4.1現在)	小学校	830	1,334人
	中学校	835	303人
	教職員	174	152人
	合計	1,839	1,789人
職員体制	所長	1	兼務
	市事務員	1	2人
	県栄養士	2	2人
	食物アレルギー栄養士	1	1人
調理員	委託(岩野商会)	19	19人

(南部学校給食センター) ↓



(北部学校給食センター) ↓



令和4年度(予定) 2022-2023 稼働日数

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	日	月	給食日数	
4月	春	土	日	春	春	入	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	祝	土	日	4月	16
5月	日	○	祝	祝	祝	○	土	日	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	5月	19
6月	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	○	6月	22
7月	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	夏	夏	夏	土	日	○	7月	17	
8月	夏	夏	夏	夏	夏	土	日	夏	夏	夏	夏	土	日	夏	夏	夏	夏	土	日	○	○	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	8月	8	
9月	○	○	土	日	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	9月	20	
10月	土	日	○	○	○	○	土	日	祝	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	土	日	○	10月	19	
11月	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11月	21	
12月	○	○	土	日	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	冬	冬	冬	冬	12月	19		
1月	日	冬	冬	冬	冬	土	日	祝	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	土	日	○	1月	17		
2月	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2月	19	
3月	○	○	○	土	日	○	○	○	○	○	土	日	○	○	○	春	春	土	日	春	春	春	春	春	土	日	春	春	春	春	春	3月	11			
月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	日	月	208	

#### ◇ 令和4年度予算について

##### ① 当初予算について

##### 歳入

予算書	項目	R3 ①	R4 ②	比較 ②-①	備考
P39	21諸収入 給食費収入(現年度)	152,609	150,439	-2170	
	22市債 6教育債 3保健体育債 過疎対策債	0	10,900	10,900	
	計				

##### 歳出

予算書	項目	R3予算 ①	R4予算 ②	比較 ②-①	備考
P245	職員人件費	23,984	21,044	-2,940	正規職員3人分
P247	管理事業費	46,546	50,382	3,836	
	10需用費	30,250	33,960	3,710	
	光熱水費(電気料)	24,948	27,984	3,036	・電気料金の値上げによる。
	光熱水費(水道料)	5,280	5,940	660	
	12委託料	7,649	7,235	-414	施設等管理委託料(厨房機器点検等)
	13使用料及び賃借料	8,370	8,898	528	・下水道使用料、北部センター敷地借上料
	運営事業費	338,320	358,787	20,467	
	10需用費	214,254	221,521	7,267	
	消耗品費	2,455	1,865	-590	・調理場等で使用する消耗品
	修繕料	1,250	1,260	10	・調理設備・機器等の修繕料
	車検整備料	750	1,000	250	・配送車用
	賄材料費	209,799	217,378	7,579	・給食の主食・牛乳・おかず等賄材料 ※主食、牛乳の値上げ分の増
	11役務費	1,301	1,746	445	・検便手数料、口座振替手数料、配送車の保険
	12委託料	117,654	105,857	-11,797	
	給食配送業務委託料	4,987	5,038	51	・シルバー人材センターに委託
	給食調理業務委託	112,564	100,716	-11,848	・R3入札により契約額(長期契約)
	14工事請負費	0	12,080	12,080	・(南部)冷蔵・冷凍庫、
	17備品購入費	0	11,535	11,535	
	配送車		5,368	5,368	・配送車1台更新
	コンテナ購入費		5,566	5,566	・コンテナ6台更新
	26公課費(自動車重量税)	182	191	9	・配送車用
	計	408,850	430,213	21,363	

## ②小中学校児童生徒の保護者に対する子育て支援について

・市長公約により令和2年12月分給食費から、3割の軽減実施しており、令和4年度も3割軽減を継続しています。なお、保護者から納入していただいた給食費はすべて賄材料費に充当し、3割軽減分については、一般財源から充当します。

・給食費年度別単価

年度		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		R3	R4
								4月→	12月→		
小学校	低学年	247	→	→	→	→	→	247	172	→	→
	高学年	268	→	→	→	→	→	268	187	→	→
中学校		309	→	→	→	→	→	309	216	→	→
								3割軽減	3割軽減	3割軽減	

(当初予算)	給食費収入	賄材料費	市一般財源
	150,439 千円	217,378 千円	66,939 千円

なお、市支援額の66,939千円のうち10,850千円については、コロナ関連及びロシアのウクライナへの侵攻により、原油の高騰、食料品の値上がりが予想されたことから、現在の給食費の単価では賄材料の予算が不足するため、1食あたり約15円分を市が負担することにより予算対応していましたが、国から「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用するよう通知があったことから、賄材料の値上げ分「10,850千円」については国の交付金で対応しています。

児童生徒数	単価	給食日数	値上り分
3,628 人	× 15 円※	× 199 日	= 10,850,000 円

※単価15円については、平成26年から給食費を据え置いてきましたが、その間、主食(ごはん、パン)及び牛乳の値上がりをしていましたが、おかずにかかる食材の分を主食及び牛乳で賄っていたことから、令和3年度までは、食材等を工夫しやりくりしてきましたが、令和4年度は様々な食材の値上がりすることにより、このままの給食費の単価では献立が立てられないため、1食あたり15円を予算に計上しました。

(国からの通知↓)

事務連絡  
令和4年9月12日

各都道府県・指定都市教育委員会学校給食主管課  
文部科学大臣所轄学校法人担当課  
各都道府県私立学校主管課  
附属学校を置く各国公立大学法人事務局 御中  
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

物価高騰等に対応した学校給食費の保護者負担軽減について

物価高騰による学校給食費への影響等が懸念されているところであり、その対応として、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用による学校給食費の保護者負担の軽減について」(令和4年6月27日付事務連絡)において、学校給食を実施する学校設置者に対して、関係部局等と緊密に連携し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充により創設される「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を活用し、学校給食費の保護者負担の軽減に向けた取組を進めていただくよう依頼するとともに、取組状況の把握に御協力をいただいたところです。

### ③令和4年度における物価高騰等による賄材料、電気料等の値上げの対応について

中野市の給食の賄材料については、お米、キノコ、野菜、果物については、市内産を使用、お肉、調味料(みそ、しょうゆ、お酒等)、お魚、青果、こんにゃく、豆腐等市内の製造・販売業者から入札をして購入しています。野菜等は天候等によって単価が変動するため、その時点の相場の価格により購入しています。

そのほかの賄材料については、市内・市外の業者から半年、又は1年間の入札をして単価の安価な業者から購入しています。

今年も10月以降の賄材料の入札をしたところ、物価高騰により、下記の表のとおり値上げとなった。値上がり分(2,000,000円と試算した額)については、給食費を値上げするのではなく、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方臨時交付金」を活用して対応しています。

**令和4年9月2日**

第三種郵便物認可

信濃毎日 新刊

## 食品2万超 年内値上げ

**帝国データ調査**

7月に物価上昇率が大きかった品目

食用油	40.3%
小麦粉	16.8%
タコ	15.5%
電気代	19.6%
ガス代	18.8%

※総務省調べ、前年同月比

年内に値上げした品目や値上げを予定する食品が8月末時点で56品目上ることや、帝国データバンクの調査で分かった。原材料高や原油高、急落した安値を反動で、9月以降は42品目、10月は年内最多の65品目の値上げが予定される。ただ目以降は40品目にとどまっておお、値上げラッシュは目をピークにいったん落ち着きそうだ。

政府は8月、食品の値上げを抑えるため、製粉会社に売り渡す輸入小麦の価格を10月以降据え置く方針を示した。ただ電気料金や燃料費、原材料価格は高まりが止まらず、帝国データバンクの担当者は「断続的な値上げは年明け以降も続く可能性がある」と分析している。

調査は株式会社上場する主要食品メーカー105社の8月末時点の動向をまとめた。10月のうち年内に値上げを実施したが、予定しているのは8割に当たる約2社で、昨年の2社から4倍に増えた。

昨年の食品値上げは、食用油の高騰を主因とする値上げが中心だった。今年は食用油や小麦を含む多くの原材料高に、包装資材や物流費の高騰、円安進行など複数の原因が重なり、影響が及ぼす食品分野に及んでいる。

## ミックス粉も、油も、タコも…

### 長野の鉄板料理店 続く苦悩

ロシアンワクライ便政などを背景に、食品燃料、電気、ガスを始めとする物価上昇が止まらない。値上げは9月以降も相次ぐとみられ、家計の厳しさはさらに増している。物価高の実情を長野市中心市街地の飲食店に見た。

「ミックス粉、油は必要な物が全部値上がりしています。8月31日、長野市北石町の「信州鉄板料理あめい」の代表の仲田純さん(40)はそうぼたいた。2015年に開店、鉄板で焼いた熱々を提供する焼き肉と、焼きが売り



だ。営業は順調だったが、新型コロナウイルスの感染が拡大した20年以降、客足が激減。そこに、昨年から原料費の値上げが頭を悩ませる問題として加わった。

例えば、たき焼きに必要な物均約1.5倍、ミックス粉は、1.1倍、670円から約900円に、1日約400円、約2割増の食用油、昨年比で約1.5倍に上がった。タコの価格はも5割上がり、店ではたき焼き6個の原価は約40円余計にかかるようになった。電気代も値上がりしているが、詳細については伏せて(請

求書などを)見られていない。総務省が発表した7月の全国消費者物価指数(2020年=100)は、生鮮食品を除くは前年同月比、4%夏の102.2。価格が安候に大きく左右される生鮮食品を除く食品は企業による価格転嫁が相次ぎ、3.7%昇った。ロシアンワクライ便政を受けて原油や穀物の価格が高騰したほか、円安で輸入物価が押し上げられ、生活に欠かせないエネルギーや食料品が値上がりした。

「飲みに行きたい外食を減らしています」。来店した市内の会社員男性(39)は話した。「安売りの品を1バーで買って自炊するをして生活費を抑えるように心がけている」と言う。長野市の農業者の男性(55)は「カソリン代の高騰が家になびく。市内での給油を高いと感じ、趣味のドライブで足を運ぶ新車などで給油している。仲田さんに話を、客の入りは、新型コロナウイルス拡大前の6.7割程度。流行の「第7波」も影響し、この日の客はいつもより少なかった。「飲食業は薄利多売、売り上げが伸びないまま残れない」。

店は今春、たき焼きを6個から8個から630円(税抜き)に値上げした。だが、その後も原料費の値上げは続き、ミックス粉は1層の値上げが予想される。「原材料費が上がりれば値上げは避けられないが、値上げすれば「客足に影響しないか不安だ。個人ではどうもは限られるもの、」接客力を高めるなど、来客を減らさない客を満足してもある店づくりに「層子を入れない」と。自分では言わないが、(鈴木 淳介)

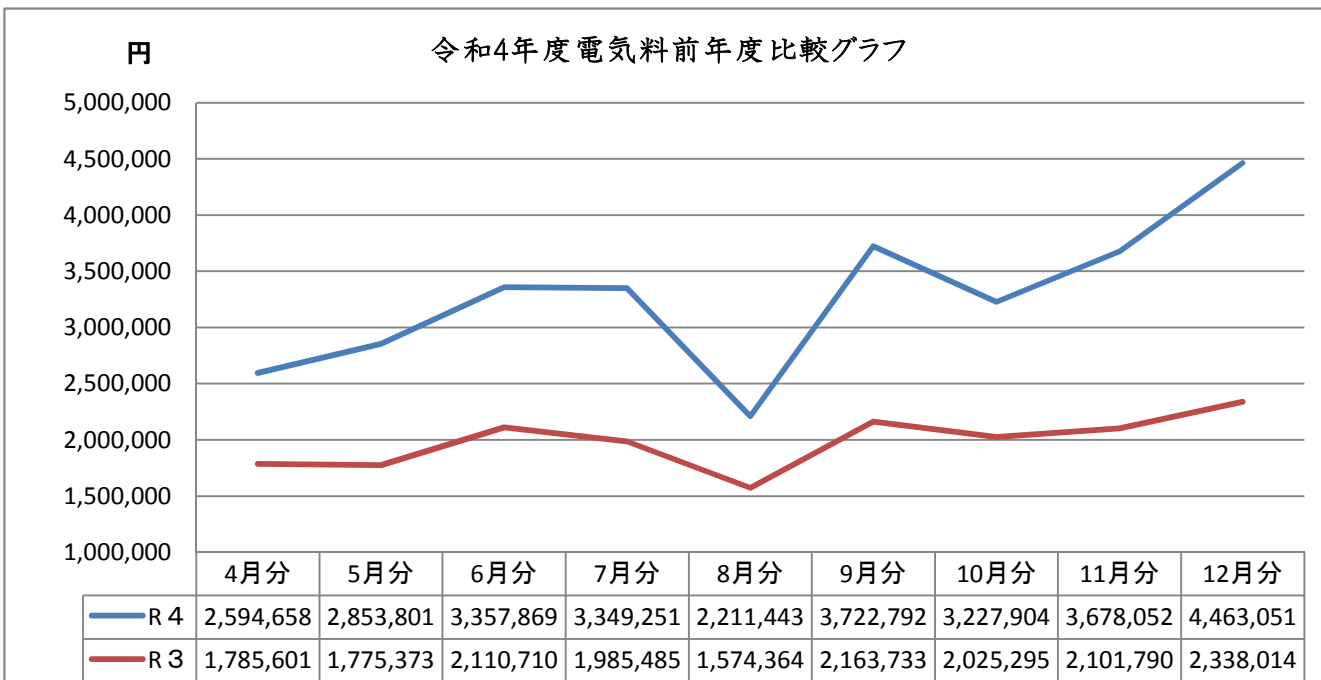
南部学校給食センターの賄材料における使用量に対する値上り額の試算額

品名	4月～9月	10月～	値上額	4月～8月	10月～
	単価	単価		1カ月使用量	値上げによる必要な額
	①	②	②-①=③	④	③×④×6月
豚もも肉	1,400 円/kg	1,600 円/kg	200 円/kg	325 kg	390,000 円
清酒紙パック	1,045 円/本	1,150 円/本	105 円/本	15 本	9,450 円
オリーブオイル	720 円/本	1,100 円/本	380 円/本	1 本	2,280 円
ひまわり油(16.5kg)	5,100 円/缶	6,300 円/缶	1,200 円/缶	16.4 缶	118,080 円
ごま油(1650g)	1,370 円/本	1,550 円/缶	180 円/本	1.4 本	1,512 円
他38品目			1円～365円		～ 円
全43品目					1,000,000 円
2センター					2,000,000 円
1食あたり値上り額	10月以降必要額	児童生徒等	給食日数		1食あたりの額
	2,000,000	3,628	108		5 円

○令和4年度電気使用量について

前年度比較

	月 年度	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	12月までの計
		4/1～月末	5/1～月末	6/1～月末	7/1～月末	8/1～月末	9/1～月末	10/1～月末	11/1～月末	12/1～月末	
使用量 (Kwh)	R4	103,351	112,710	135,122	124,420	74,627	125,985	104,308	113,445	130,598	1,024,566
	R3	108,596	105,736	134,073	114,989	83,041	123,647	116,718	118,322	130,795	1,035,917
支払額 (円)		4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	計
	R4	2,594,658	2,853,801	3,357,869	3,349,251	2,211,443	3,722,792	3,227,904	3,678,052	4,463,051	
	R3	1,785,601	1,775,373	2,110,710	1,985,485	1,574,364	2,163,733	2,025,295	2,101,790	2,338,014	
	差額(R4-R3)	809,057	1,078,428	1,247,159	1,363,766	637,079	1,559,059	1,202,609	1,576,262	2,125,037	
	増加率	145.3%	160.7%	159.1%	168.7%	140.5%	172.1%	159.4%	175.0%	190.9%	164.9%



○令和4年度12月補正の対応について

(千円)

事業名	項目	当初予算	補正額	計	備考
管理	10需用費、光熱水費・電気料金	27,984	16,994	44,978	電気料の値上げにより前年の平均161.0%上回っており予算が不足するため
運営	10需用費、修繕料	1,260	2,000	3,260	建設から15年以上経過しており施設設備(エアコン等)が故障し、修理が必要なため

○今年度12月までに補正で対応した予算について

・北部学校給食センターが平成18年に建設され、16年が経過していることから、調理用の機器類が耐用年数を過ぎて、故障しまったため補正予算を議会に提出し更新したもの

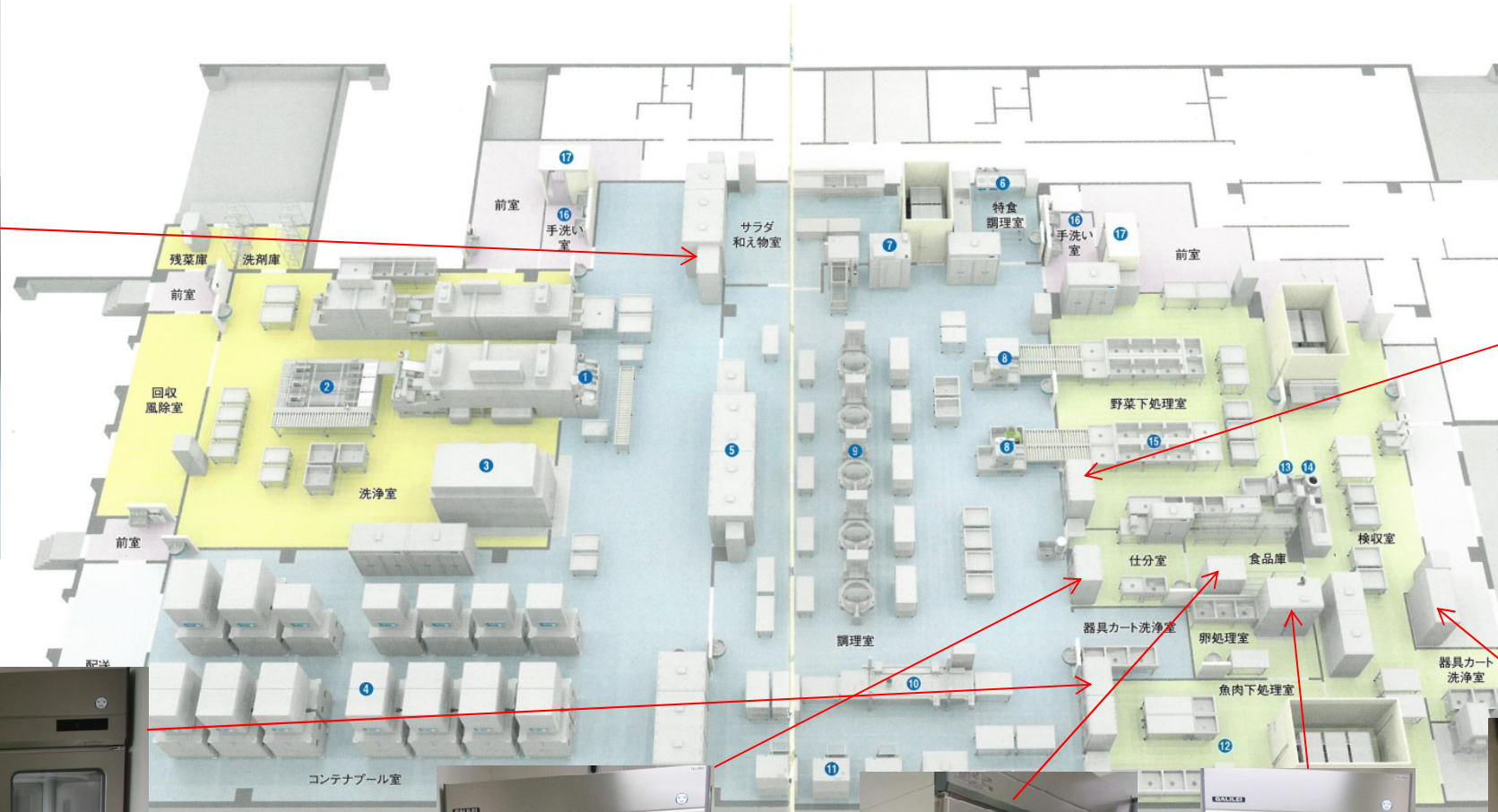
センター	議会提出	予算項目	説明
北部	6月	17備品購入費	・急速冷却機購入費(ブラストチラー) 8,114,000円
北部	9月	17備品購入費	・蓄冷剤用急速凍結専用庫購入費 2,471,000円

## 南部学校給食センター配置図

南部学校給食センターでは、令和4年度冷蔵庫、冷凍庫を7カ所交換しました。



保冷材用冷凍庫



豆腐・油揚げ・厚揚げ等保管冷蔵



魚肉下処理室用冷蔵庫



当日使用する調味料用・冷蔵庫



開封した調味料保管・冷蔵



液卵用冷蔵庫



冷凍食品保管冷蔵庫



## (2) 令和5年度の給食費等について

### ① 令和5年度の給食費の単価(案)について

給食に使用する賄材料については、様々な食材等が値上がりしていることから、本来であれば給食費の改定をして保護者の皆様に負担をお願いするところですが、コロナ関連、ロシアのウクライナ侵攻問題等により、子育て環境が厳しくなっていることから、更なる支援が必要なることから、給食費の単価については据え置き予定で考えています。

□令和5年度の給食費(案)及び年度別単価について

年度		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	低学年	247	→	→	→	→	→	→	→	247	据置
	高学年	268	→	→	→	→	→	→	→	268	据置
中学校		309	→	→	→	→	→	→	→	309	据置

### ② 子育て支援について

現市政において子育て支援が最重要課題であり、市長の公約により、令和2年12月分から小中学校児童生徒の給食費を3割軽減しているところですが、

現在の経済情勢等から子育て支援を今後も継続する必要があることから、軽減については継続する予定です。

□令和4年度の年間保護者負担額・3割軽減額(現状)

(単位:円)

令和4年度	通常単価・給食費			軽減後の年間給食費(一人当たり)				差額	
	単価	食数	年間額	軽減	単価 ①×7割	食数	年間額		
			単価×食数				単価×食数		
①	②	①×②=③	④	⑤	⑥	⑤×⑥=⑦	⑦-③		
小学校	低学年	247	202	49,894	3割	172	202	34,744	-15,150
	高学年	268	202	54,136	3割	187	202	37,774	-16,362
中学校		309	202	62,418	3割	216	202	43,632	-18,786

※令和5年度の軽減割合について、令和4年12月議会において、市長の答弁から「軽減割合については、今後さらに検討して参ります。」と答弁していることから軽減割合の割り増しについて検討しています。

### ③ 物価高騰に伴う賄材料の値上がり状況及び公費負担の対応について

令和4年度の値上がり分1食分20円及び5年度の値上がり分を1食あたり10円増額と見込んでおり、合わせて令和5年度は賄材料を30円値上がりすると見込んでいます。この値上り分については、コロナ関連、ロシアのウクライナ侵攻問題等から物価高騰を招いていることから、令和5年度についても公費負担(一般財源)で対応し、令和4年度のように国からの交付金があれば、活用する予定です。

◇令和4年から令和5年食材等の値上がり状況

	精米 (10kg)	加工賃				牛乳
		パン	米粉パン	麺	米飯	
R4	2,960		8.00		29.74	56.75
R5	3,190		8.67		32.19	1割予定
値上額	230 ↑	3.5 ↑	0.67 ↑	4.5 ↑	2.45 ↑	5.67 ↑

なお、牛乳については見込み額で計上しています。

### ④ 給食数の報告における欠食(返金)の取り扱いについて

現在、新型コロナウイルス感染症の国の対応は2類(公費負担)となっていることから、市の給食費においても児童生徒及び先生が欠席した場合、給食費を欠食扱いとして、給食費を徴収しないよう対応しているところですが、令和5年5月8日からは、国の方針で2類から5類へ移行し公費負担から個人負担へ移行することから、市の給食費の対応についてもインフルエンザと同じ対応することとしたいと考えています。下記欠食(返金)の取り扱い表(抜粋)の13のケースは削除して、**新型コロナウイルス感染症(赤字)**を10に加えるように変更したいと考えています。



○欠食の場合の対応表(抜粋)

コード	ケース	欠食対応可能日	備考
4	傷病等の療養(入院)による欠食	3営業日前	5営業日以上連続して欠席する場合のみ欠食扱いとします。(※5日未満の欠席は、欠食の対象外です。)
10	インフルエンザ、 <b>新型コロナウイルス感染症</b> 、感染症胃腸炎による休校、学級閉鎖	3営業日前	3営業日前を過ぎても、給食費の配送は停止してできますが、早めの連絡をお願いします。(給食費は請求対象となるため、配送を停止するかどうかは、学校の判断によります。)
13	新型コロナウイルス感染症による欠食	当日	児童生徒(教職員を含む)が感染、又は濃厚接触者、もしくは同居の家族が濃厚接触者と判定されたことにより学校を欠席するときは、報告日から欠食扱いとします。

※現在はコロナ感染ということで、食数の変更が毎日のように報告があり、主食納入業者及び、牛乳納入業者等の皆さんに欠食の対応に協力していただいている。

○返金・請求の例(令和4年度)

コード		1日 月	2日 火	3日 水	4日 木	5日 金
4	5日以上	休	休	休	休	休
	給食費	請求	請求	請求	欠食	欠食
10	4日の場合	休	休	休	休	
	給食費	請求	請求	請求	請求	
13	3日の場合	休	休	休		
	給食費	欠食	欠食	欠食		

令和5年5月8日以降

		1日 月	2日 火	3日 水	4日 木	5日 金
4	5日以上	休	休	休	休	休
	給食費	請求	請求	請求	欠食	欠食
10	4日の場合	休	休	休	休	
	給食費	請求	請求	請求	請求	

新聞記事

2023年(令和5年) 1月27日 金曜日 9版

**信濃毎日新聞**  
1873年(明治6年)創刊  
150  
信濃毎日新聞 創刊150周年 SINCE 1873

発行所 信濃毎日新聞社  
長野県本郷町 380-8546  
長野市南東町 657番地  
電話(026) 236-3000 編集236-3111  
販売236-3310 広告236-3333  
松本本社 〒380-8565  
松本市中央 2丁目20番2号  
電話(0263) 282-1200 報道32-2830  
販売32-2860 広告32-2860  
©信濃毎日新聞社 2023年

**新型コロナ 5月8日5類移行**

**きょう 決定 マスク個人の判断に**

政府は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを5月8日(季節性インフルエンザと同じ)5類に引き下げる方針を固めた。今月27日に政府対策本部を開いて正式に決める。岸田文雄首相が26日、宮邸で関係閣僚と協議し最終確認した。政府関係者が同日、明らかにした。

【関連記事3・25面】

5類移行後の医療費は、期別の関係者によると、大型連休を区切って公費負担を当面 休前などに厚生労働省の感 続する。急激な個人負担増 染症部を開き、予通通知 費支援と医療体制の方向性 について、3月上旬をめどに具 体的な方針を示す。

マスク着用は屋内外を問わ ず個人の判断に委ねる。政府 は着用が効果的な場面を通知 する方向で検討しており、早 期の提示を目指す。

5月8日とする理由につい て政府関係者は「大型連休が 終わり、人の往来が落ち着い くのを見越した」と説明した。

対策本部に先立ち、27日午 前には厚労省の感染症部会が 開かれ、5類移行について専 門家としての意見を交わすこ とが重要だと考えられてお り、具体的な内容の検討、調整を進め る。移行に伴い見直される 医療体制や感染対策などの措 置にも一定の方向性を示す可 能性がある。

政府は27日午後、新型コロナ 対策分科会と基本的対処方 針分科会を合同開催して検討 緊急事態宣言やまん延防止等 重点措置も可能な特別措置法 の対象となっている。岸田首 相は20日、今春に5類に引き 上げると表明した。